

町会報

えひめ

2009

8

Vol.5

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会

〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2

TEL 089-941-7598(代表)

FAX 089-945-1318



内子笹まつり（8月6～8日）



8月6～8日にかけて行われる内子笹まつり。趣向を凝らした約70本の笹飾りが内子本町通りを華やかに彩ります。

笹踊りや子どもたちによるちょうちん行列などさまざまなイベントが行われ、大勢の人出で賑わいます。

Contents

全国町村会臨時総会	2
愛媛県市町総合事務組合だより	3
第161回四国地区町村議会議長会会長会	4
第62回町村議会事務局職員研修会	5
第70回町村議会広報研修会	5
全国町村職員生活協同組合車両共済のご案内	6～7
一 筆	8
8月の行事	8

マニフェストに対する意見 与野党へ申し入れ

全国町村会臨時総会

全国町村会は、8月11日全国町村会館において臨時総会を開催し、衆議院議員総選挙における政党マニフェストに対する申し入れについて協議した。

総会は山本会長(福岡県)のあいさつに始まり、はじめに「自由民主党政権公約に対する意見(案)」、次いで「民主党マニフェストに対する意見(案)」について、藤原行政部会長(長野県)、魚津財政部会長(富山県)

及び白石経済農林部会長(本県)からそれぞれ内容を説明。協議の結果、満場一致で原案とあり決定した。

なお、出席者から「各都道府県の自民党、民主党の県連にも要請すべき」、「全国町村議会議長会とも連携をとり、行動していくことが必要」との意見があり、賛同を得た。

次に要請活動方法について協議がなされ、総会終了後、ただちに運動を展開することを決定し、臨時総会を閉会した。

なお、本会から白石会長、上村副会長、清水監事及び事務局長の4名が出席した。

臨時総会終了後、都道府県町村会



長らが民主党に対して要請活動を展開。福田哲郎民主党政策調査会長代理、尾立源幸同政策調査会副会長に對し、①これ以上の合併の強制、誘導はやめること、②道州制はやめること、③町村に対する財政支援をすること、④農林水産政策を充実すること、⑤町村にとって望ましい新たな過疎法を制定すること、⑥後期高齢者医療制度を維持すること、等を要請した。

これらの要請について民主党側からは、①地域を元気にすることが大きな目的であり、強制合併は行わない。②基礎自治体を重視する。このため、ひも付き補助金を一括交付金化して、それぞれの自治体に自由になる財源を分配する。③農林漁業の振興は最重要課題の一つ。日米自由貿易協定によって農林漁業に打撃を与えないよう、交渉の段階で必要な対応を図っていく。④後期高齢者医療制度については廃止を含めてより良い制度となるよう改革していく。⑤新たな過疎対策法については党内で議論しているが、市町村とも協議を重ねて対応していく。等の回答があった。

次いで自民党を訪ね、谷川秀善自民党参議院幹事長、佐藤昭郎同参議院副幹事長、小泉昭男同参議院副幹事長に對し、①道州制を導入することとは意義がわからないため、止めるべきである。②財政状況が厳しい町村には、一定の支援を国が講じるべきである。③私たちの豊かな暮らしを実現するために、農林水産業を充

実させる施策を講じてもらいたい。等を要請した。

これに対して自民党側から、①地方分権が進まない理由は、国と地方の財源配分の問題である。基礎自治体である市町村に財源を移さなくてはならない。②道州制は今すぐやるというわけではない、10年かけて市町村の基盤がしっかりしてから導入を考えている。③21年度補正予算について、日本全体の経済が苦しい中で地域の活性化に対する財源の手当は、国債を発行してでもやるべきと考えている。④社会保障については、消費税を含めた税制の抜本改革を行う必要がある。旨の回答があった。

またこの後、正副会長や各部会長が細田博之自民党幹事長と面談。細田幹事長から「全国町村会の要請に応えるよう、政権運営に尽くしていきたい」との回答があった。

道州制に反対

自・民両党に要望

正副会長が面談で！

県町村会は、全国町村会が11名日に両党本部に対して意見書を提出したことを受けて、13日に正副会長が自民、民主両党の県連を訪ね、次期衆議院議員選挙の両党マニフェストについて要望した。

要望は、道州制は町村の強制合併につながるから反対するとともに、農林漁業の活性化や過疎対策の強化などを訴えたものである。

総合事務組合だより

平成21年度愛媛県市町総合事務組合議会定例会は8月6日に開催され、平成20年度決算など8議案を上程し、いずれも原案のとおり可決・承認された。決算の概要は、次のとおり。

【平成20年度 愛媛県市町総合事務組合一般会計歳入歳出決算書】

(歳入)		(単位：円)
款	項	金 額
1 負担金		6,368,990,451
	1 退職手当負担金	5,978,972,415
	2 消防負担金	310,456,336
	3 交通災害共済掛金	71,166,100
	4 自治会館負担金	8,050,000
	5 公務災害負担金	345,600
2 使用料		3,600,000
	1 会館使用料	3,600,000
3 消防基金等支出金		290,255,287
	1 消防基金支出金	290,255,287
	2 議員連合会支出金	0
4 財産収入		26,861,118
	1 財産収入	26,861,118
5 繰入金		7,549,000,000
	1 基金繰入金	7,549,000,000
6 繰越金		819,293,743
	1 繰越金	819,293,743
7 諸収入		54,775,144
	1 預金利子	3,516,684
	2 団体支出金	47,594,915
	3 雑入	3,663,545
歳 入 合 計		15,112,775,743

(歳出)		(単位：円)
款	項	金 額
1 議会費		89,920
	1 議会費	89,920
2 総務費		106,892,460
	1 総務管理費	106,881,960
	2 監査委員費	10,500
	3 認定委員会費	0
	4 審査会費	0
3 事業費		11,882,661,311
	1 退職手当事業費	11,244,478,512
	2 消防事業費	582,491,684
	3 交通災害事業費	50,812,782
	4 自治会館事業費	4,437,427
	5 議員公務災害事業費	440,906
4 公債費		0
	1 公債費	0
5 諸支出金		2,818,110,000
	1 基金積立金	2,818,110,000
6 予備費		0
	1 予備費	0
歳 出 合 計		14,807,753,691

【基金積立金会計】		(単位：円)
積立金種別	金額	
退職手当基金積立金	896,000	
消防賞じゅつ金等基金積立金	147,721,000	
交通災害見舞金基金積立金	90,519,000	
会館財政調整基金積立金	47,619,000	
議員公務災害補償基金積立金	5,091,000	
合 計	291,846,000	

【翌年度繰越金内訳】		(単位：円)
積立金種別	金額	
退職手当繰越金	280,494,996	
消防繰越金	3,100,793	
交通災害繰越金	18,647,053	
自治会館繰越金	2,313,007	
公務災害繰越金	466,203	
合 計	305,022,052	

【平成20年度 各事業における支払の状況】

退職手当		(単位：円)	
種 別		人 数	金 額
特別職		33	330,900,296
一般職 (592名)	普通退職	98	649,828,033
	勸奨退職	99	2,550,438,566
	定年退職	354	7,436,087,717
	その他退職	41	272,301,192
合 計		625	11,239,555,804

消 防		(単位：円)	
種 別	人 数	金 額	
団員災害補償費	15	757,030	
障害・遺族補償年金	5	8,983,163	
従事者災害補償費	2	31,094	
退職報償金	783	280,484,000	
合 計	805	290,255,287	

交通災害		(単位：円)
種 別	人 数	金 額
災害見舞金	438	44,050,000

議員公務災害			
種 別		人 数	金 額
支払いはありません。			

議長全国大会に 「交通基盤整備」を要望

四国地区町村議会議長会会長

第161回四国地区町村議会議長会会長が、本会当番により、8月27日松山市の「にぎたつ会館」において、四国4県の会長及び事務局長が出席して開催された。

会議はまず、地元愛媛県の西村会長のあいさつに始まり、規約の定めるところにより西村本県会長が議長席に着いて、「議事」に入った。

まず、会議録署名人に次期開催県の前田徳島県会長を指名した後、次のとおり議事が進められた。

議 事

1 第53回町村議会議長全国大会に提出する四国地区町村議会議長会



四国地方における交通基盤整備について

四国地方は、エクスハイウェイにより四国の4県都が高速道路で結ばれ、本四三橋と一体となり本格的な広域交流時代を迎えている。

しかしながら、四国地方は、道路整備をはじめとする、交通基盤の整備状況は極めて低く、他の地域に比べかなりの格差が生じている。

この基盤整備の遅れが、四国内の産業・経済・観光振興等に大きな影響を与えており、産業基盤や財政基盤の脆弱な四国地域の活性化、並びに、自立促進への大きな弊害となっている。

このような現状を打破し、四国地方においても、全国並みの発展を実現するためには、遅れている域内交通体系を迅速かつ着実に整備する必要がある。

については、下記事項について特段の配慮を行うよう強く要望する。

記

- 1 高速道路の整備については、四国地方の活性化に必要不可欠で、かつ緊急時に「命の道」となる四国8の字ネットワークの早期整備を図ること。
- 2 地域高規格道路に指定されている幹線道路の整備促進を図ること。
- 3 遅れている四国地方の国道・県道・市町村道・生活道については、渋滞の解消、交通事故対策をはじめ、地域の暮らしを支える道路や、救急活動に不可欠な道路など、住民にとって利便性が高くかつ機能的で、地域の実情に即した均衡ある道路網として整備を推進すること。
- 4 地域交通施策の推進について
 - (1) 広域的、幹線的な地方バス路線については、赤字路線を多く抱える町村部の実情に鑑み、その維持について適切な措置を講じるとともに、町村が実施する自主運行路線等に対し、適切な財政措置を講じること。
 - (2) 併せて離島航路やその他の島しょ部の航路は、島民にとって極めて重要な交通機関であるので、国道や高速道路と同様、24時間運航や航路の維持について適切な措置を講じること。

特に、航路の廃止・減便が懸念されるフェリー等公共交通機関に対する支援を強化すること。

の要望事項について

西森愛媛県事務局長から、資料に基づき説明があり、意見交換。

この結果、一部の文言修正があつたほか、諸般の状況を踏まえ、後日、微調整することとなった。

2 第50回四国地区町村議会議長会

研修会について

当番の西森愛媛県事務局長から資料(省略)に基づく説明があり、了承した。

3 各県提出議題について

(1) 「道州制」反対への取組みについて(徳島県)

森徳島県局長から問題提起があり、各県ごとに状況説明し、意見交換を行った。

(2) 議会改革への取組み状況について(徳島県)

森徳島県局長から問題提起があり、各県ごとに状況説明し、意見交換を行った。

4 次期四国地区会長の開催について

今回は、8月25日に徳島県で開催することに決定した。

◇

四国地区会会長が開催された、翌28日に町村議会議員共済会の四国ブロック職員研修会が「にぎたつ会館」で開催された。

研修会は、本年度末に共済会支部が廃止されることから、本部から参照監事と三宅業務部長を招き監査を受けるとともに、支部廃止後の事務処理等について意見交換した。

1等・前後賞
あわせて

9/28日
発売

1枚 300円

2億円
オータムジャンボ宝くじ

1等 1億5,000万円×13本
秋祭り賞 1万円×39万本

問い合わせ/ (財) 愛媛県市町振興協会

前後賞各2,500万円
売り切れしだい発売終了

発売期間
9/28日▶10/16金
抽せん日
10/23金



「宝くじ」のマスコット
「クーちゃん」

オータムジャンボ宝くじの収益金は、市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など住民福祉向上のために使われます。

第62回町村議会

事務局職員研修会

全国から200名が参加！

全国町村議会議長会主催による、「第62回町村議会議事務局職員研修会」が8月5～6日の2日間にわたり東京シーエーバツハ砂防で開催された。

この研修会は、町村議会議事務局職員の資質向上を図り、議会機能の高揚に資することを目的に、毎年開催されている。

今年も、全国から集まった200人の議会議事務局職員等が出席し、議会の活性化やまちづくりなどをテーマに研さんを積んだ。

なお、研修日程は別掲のとおりで、本会から事務局職員が参加した。



第1日目の研修会終了の後、「町村議会議事務局職員全国交流会」語ろう議会！残そうふるさと！が開催され、約150人が出席した。

この交流会は、都道府県の枠をこえた交流を積極的に

行うとともに、それぞれの町村の諸問題や議会運営等について、広く意見交換や情報交換を行うことを目的に、毎年開催されている。

交流会には野村全国町村議会議長会と講師の藤原長野県川上村長も出席し、参加者と懇談。また、「我がふるさと」を広く全国にPRしよう、参加者の地元の特産品やまちおこしの地場産品等が展示され、紹介があった。

なお、出展の特産品等は参加者で試食や試飲を行い、参加者同士の交流に一役を買うとともに、非常に和やかな雰囲気の中で交流が図られた。

第62回町村議会議事務局職員研修会日程

■ 8月5日(水)	
・開講のあいさつ	演 大 泉 一 貫 氏
・講 演	
10:20～11:40	「新 農業改革論」 宮城大学副学長
13:00～14:50	「いま 議会に期待されること・議会運営事例解説」 全国町村議会議長会 議事調査部長 岡 本 光 雄 氏
15:00～16:20	「実践！まちづくり講座」 長野県川上村長 藤 原 忠 彦 氏
・交 流 会	[ルポール趣向]
■ 8月6日(木)	
・講 演	
9:00～10:20	「分権改革と町村議会」 明治大学政治経済学部教授 牛 山 久仁彦 氏
10:30～11:50	「地域ブランドの発掘～オンラインワンを日指して～」 株式会社玄代表取締役社長 政 所 利 子 氏

全国議会広報研修会

開かれる

砥部町議会から4人が参加



全国町村議会議長会主催による、「第70回町村議会広報研修会」を8月25～26日に開催し、全国の議会広報編集委員

記について武庫川女子大学言語文化研究所長・同文学部教授の佐竹秀雄氏、世論に響く情報発信のあり方について(株)宣伝会議取締役編集室長の田中里紗氏、広報・公聴活動をする際のインターネットの活用について(株)ニューズ・ツー・ユー代表取締役社長の神原弥奈子氏から、それぞれ講演があった。

また、2日目には3つの分科会に分かれ、芳野政明氏、深沢徹氏、城西創氏による「議会広報クリニック」が行われた。

なお、本県からは砥部町議会の広報編集委員4人が参加した。研修日程は次のとおり。

第70回町村議会広報研修会日程

■ 8月25日(火)	
・開講のあいさつ	全国町村議会議長会会長 野 村 弘
・講 演	
「わかりやすい文章表現・表記について」 武庫川女子大学言語文化研究所長・同文学部教授 佐 竹 秀 雄 氏	
「情報時代に求められる広報」 (株)宣伝会議取締役編集室長 田 中 里 紗 氏	
「ネットPR発想で広がるスネークホルダーとのコミュニケーション」 (株)ニューズ・ツー・ユー代表取締役社長 神 原 弥 奈 子 氏	
■ 8月26日(水)	
・議会広報クリニック	
《第1分科会》 編集・出版アドバイザー 芳 野 政 明 氏	
[14町村]	
《第2分科会》 広報コンサルタント 深 沢 徹 氏	
[14町村]	
《第3分科会》 エディター・城市代表取締役代表 城西 創 氏	
[13町村]	

簡単!**お見積りは****携帯電話からが便利でスピーディです。**

- ①このパンフと携帯を持ってお車へ。ダッシュボードから車検証を取り出し
- ②左のバーコードを読み込みアクセス。あとは画面の指示に従うだけです。

**パソコンからもどうぞ。****千里 車両共済****検索**

「千里 車両共済」と検索すると簡単にアクセスできます。

<http://www.chisato-ag.co.jp>**郵便またはFAXの場合は**

- ・同封の「車両共済（保険）見積依頼書」に、車検証を参照のうえ、お車に関する項目（型式・車台番号等）を記入し、返信用封筒にてお送りください。
- ・郵便、FAXの場合は、車検証のコピーを一緒にお送りいただくと手続きがスムーズになります。
- ・平日の日中に郵便の投函またはFAXできない場合は、ご家族にお手続きいただけます。

FAX 03-3519-7325 受付時間:24時間 年中無休**お電話の場合は****0120-731-087** 受付時間:月～金 午前9時30分～午後5時**見積書のご確認は**

- ・取扱代理店 千里から見積書を送信しますので、内容をご確認ください。
- ・見積書の内容変更や、お問合せ等は、取扱代理店 千里までご連絡ください。

契約のお申し込み・補償の開始は

- ・ご契約は、取扱代理店 千里へフリーダイヤルでお申込みください。
- ・0120-731-087: 受付時間:月～金 午前9時30分～午後5時
- ・補償開始は、電話でのお申込みの2日目以降となります。余裕をもってお申込みください。

補償開始後のお手続きは

- ・掛金（保険料）は、ご指定口座から、ご契約日から2か月後の27日に、口座振替いたします。（分割払の場合は、以降毎月口座振替となります。）
- ・車両共済（保険）の保険期間は1年間です。満期月の2か月前に、満期案内をお送りします。更新を希望されない場合や、更新後の契約条件の変更をご希望の場合には、取扱代理店 千里までご連絡ください。

満期日	通知締切日
毎月1日～15日	満期日前月の10日
毎月16日～末日	満期日前月の25日

〔取扱代理店〕

〔車両保険の
引受保険会社〕

株式会社 千里
株式会社損害保険ジャパン

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内

全国町村職員生活協同組合

車両共済のご案内

●車両共済(保険)制度について

「車両共済(保険)」は、自動車共済にご加入の方がご利用できる、全国町村職員生活共同組合と(株)損害保険ジャパンとが提携して開発した制度です。

●車両共済(保険)は、(株)損害保険ジャパンの商品(自動車総合保険の車両保険)です。

保険についてのご説明、保険料見積、契約締結等は取り扱い代理店(株)千里が行います。

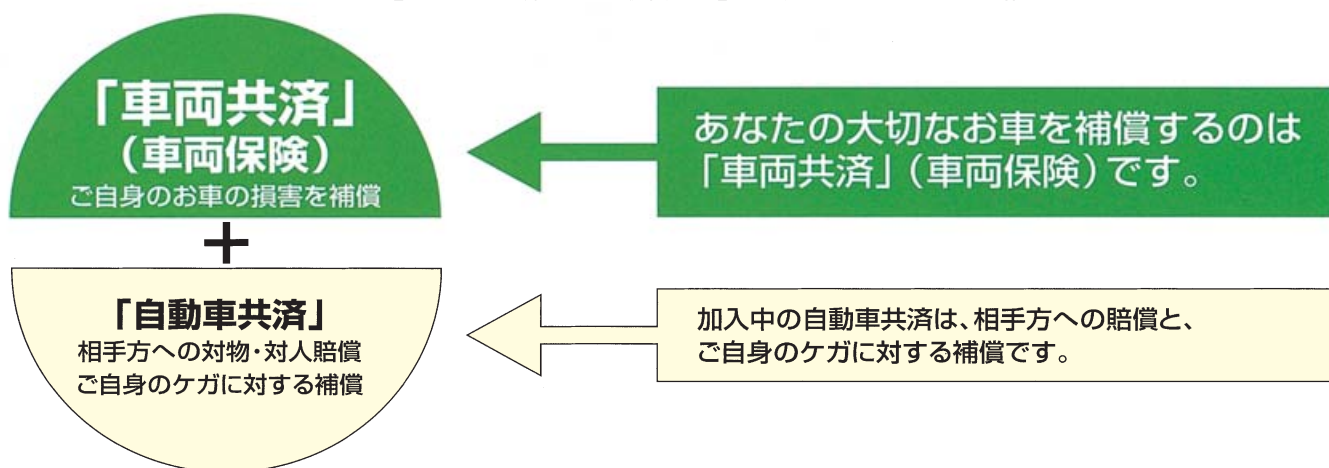
●車両共済(保険)は、自動車共済(対人賠償・対物賠償等を補償)とは別個のもので、ご自身のお車の損害を補償する制度です。

安心!

愛車を守るのは「車両共済(車両保険)」
自動車共済では補償されません。

「車両共済」は自動車共済の上乗せ加入で、別に加入手続きが必要です。

「車両共済」は町村生協の「自動車共済」にご加入の方のみがご加入いただけます。



割安!

充実の補償を安い掛金でご提供します。

◎軽自動車の例(スズキワゴンR・新車)

(保険期間1年、ノンフリート等級9等級)

- 用途車種 自家用軽四輪乗用車
- 形式 MH22S
- 初年度登録 平成20年10月
- 年齢条件 30歳以上担保
- 運転者限定 本人・配偶者限定
- 共済(保険)金額 100万円(免責5万円)
- 払込方法 集団扱一括払
- 商品 SUP(自動車総合保険)

約 **45%** 割引

補償範囲	掛金(保険料)
一般条件	27,340円
車対車+A	15,030円

自動車共済(B型)の掛金と車両共済(一般条件)
合計年額 **48,340円**
一般の損害保険契約に加入する場合と比較して
約47%お得(損保ジャパン比)

◎ミニバンの例(トヨタ・ノア・購入3年目)

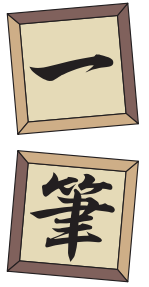
(保険期間1年、ノンフリート等級9等級)

- 用途車種 自家用小型乗用車
- 形式 ZRR70G ※イモビライザー装着車
- 初年度登録 平成18年10月
- 年齢条件 30歳以上担保
- 運転者限定 本人・配偶者限定
- 共済(保険)金額 150万円(免責5万円)
- 払込方法 集団扱一括払
- 商品 SUP(自動車総合保険)

約 **45%** 割引

補償範囲	掛金(保険料)
一般条件	39,200円
車対車+A	19,120円

自動車共済(B型)の掛金と車両共済(一般条件)
合計年額 **72,200円**
一般の損害保険契約に加入する場合と比較して
約41%お得(損保ジャパン比)



共生・協力の社会を

8月7日は、暦の上の立秋にあたる。しかし残暑は、夏真っ盛りである。

今年の夏、ドイツで開かれた世界陸上選手権では、女子マラソンで尾崎選手が金にあと一步の銀メダルを獲得。男子やり投げでは、本県上島町出身の村上選手が日本初の銅メダルを獲得した。これら活躍は、8月の熱い戦いとしてメルボルンの地に残った。

「第45回衆議院議員選挙」は、冷夏と云えども平年気温を上回る暑さの中で熱い戦いとなり、1年に至らんとする長丁場の予測助走から本番？の助走40日を経て、8月30日行われた。真夏の選挙結果は歴史的で、政界地図を大きく塗り替えた。これまで各選挙で常に掲げられた選挙公約は、今回「マニフェスト」（政権公約）と称し今までにない注目、選挙の焦点となり、また投票率は高いものとなった。

さて、通例の来年度政府予算の概算要求は、政令で各省庁から財務相に8月31日までに出すことになって

いるが、新政権の「国家戦略局(室)」設置などの絡みもありこれからである。

『景気が良くなってきた』話は聞こえたが、未だ地方ではほとんど実感がないのではなからうか。現に完全失業率は5・7%（7月）と高数字を示し、まして所帯主の失業率は10%以上とも耳にする、若年層の失業者、倒産の危機にある企業は如何に、『景気の悪さは、続いて来る、底打ちしていない。』との識者の意見もある…。

国は、借金846兆6900億円（1人あたり630万円）を抱え、税収約50兆円の中で80～90兆円の予算編成（一般会計）となる。しかし雇用対策を含めた景気対策、食料自給率金ベースで66%（カロリーベースで40%）の引き上げ、第一次産業の再構築、年金問題、少子化対策、高齢者医療対策、地方分権、地震等災害対策、拉致、諸外国との対応など問題山積である。新政権には「主役が住民である」ことを理念にして、限りある財源を有効に活かすための順位と選択、無駄の徹底的排除は無論のこと。地方あつての国である、地方が求め必要とするものは何か、地方の生の現場、現状の認識に基づいた施策展開を望みたい。賢者の机上プランのみの実行で、完成品に計算違いが出るは学習済み。誤

作動では済まされない…。

さて、この8月6日に女優の大原麗子さんが逝去された（合掌）。大原さんの一斉を風びしたCMに『少し愛して、長く愛して』がある。昨今のような厳しい時代は、何処の世界であろうとも、私利私欲に走らず身勝手な保身などに惑わされず『みんなを愛して』を皆が実践すべきであろう。

(T)

「国家も人間も変わりはない、国家も人間のさまざまな性格からできあがる」

(プラトン ギリシャ国の哲学者)

8月の会々催し

- ▽3日＝愛媛県市町総合事務組合会計監査
- ▽5日＝第62回町村議会事務局職員研修会
- ▽6日＝愛媛県市町総合事務組合定例会、全国町村会政務調査会（三部会合同会議）
- ▽7日＝第128回愛媛県都市計画審議会、愛媛県保健医療対策協議

会

▽11日＝全国町村会常任理事会、全国町村会臨時総会

▽15日＝愛媛県戦没者追悼式

▽24日＝四国四県町村会事務局長会議

▽25日＝第70回町村議会広報研修会

▽27日＝第161回四国地区町村議会議長会会長会、愛媛県農業会議

8月常任会議員会議

▽28日＝町村議会議員共済会四国ブロック職員研修会

衆議院議員総選挙

第45回衆議院議員総選挙は、8月18日に公示され、激しい選挙戦が展開された。

30日投票、即日開票の結果、次の方々が当選された。

ご健勝とご活躍をご期待申し上げます。

(敬称略)

塩崎 恭久（一区・自民）
村上 誠一郎（二区・自民）
白石 洋一（三区・民主）
山本 公一（四区・自民）
永江 孝子（比例・民主）
高橋 英行（比例・民主）